



日日進歩

会報文中の〔番号〕は、会員番号を示します。

香港路面電車、フランス企業に

文・写真 / 小柳 淳 [001]

あの、香港をコトコト走っている電車の持ち主は九龍倉という会社。英名はWharf、この九龍倉が電車会社の株50%を、フランス企業Veolia(威立雅)に売却することになった。49%でも51%でもないのが面白いけれど、両社の発表によると電車の運行はVeoliaに移る。ただ、外資だからといって心配は不要のようで、Veoliaは電車営業に意欲があるらしいのと、既に10ヶ国もの鉄道やトラムを運営しているとのこと。まあ植民地だった香港のこと、1904年に開通したときには香港電車はもともと外資だった訳だし、コスモポリタン・シティ香港では外資云々なんて議論は不似合いなのかもしれない。

それよりも楽しいのは、新規路線敷設まで検討しているらしい。報道によると、中環の新フェリー碼頭付近から、現在埋立中のところ(左下写真)を通して湾仔の會展までが計画路線。2世紀になって、再度スターフェリーとトラムが顔を合わせるようになると思うとウキウキ。



まあ、交通量の多い干諾道を越えるのは大変だから、既存の線路とは離れたままかもしれない。これに加えて、現在から過去までの六代にわたる電車を復活させて走らせる計画もあるという。単層の電車や、一等車も見られるかも。120号車もこちらに来るのでしょうか。遊覧路線だとしても楽しい感じがします。



インフルの話。

[旅行者編]



このところ話題のインフルエンザ。いよいよ日本国内での感染も出てきたようですが、それに先駆けての香港の感染報道をドキドキして見守った方も多かったのでは。3人の会員の声を聞きました。写真は2点とも [009] 撮影。左は成田空港、下はメトロパークワンチャイに待機していた人々が外に出た日の新聞です。

和地

[015]

GW連休明け、
香港行きキャンセル

家族が「激」心配、これで決行したら絶縁されそうで、ホテルのキャンセル可能なギリギリ期日まで迷いに迷いました。香港滞在以前に、空港に行くということだけで、母の血圧が上がって...。訪港して感染する可能性は低いですが、万一ホテルに隔離でもされたら...。今後、一生香港に行けそうにありません。泣く泣くキャンセルしました。香港にいるはずの週末は東京でヤケ酒(!?)ならぬ、「親孝行」な母の日となりました。

古田

[012]

今年2月、メトロパーク
ワンチャイ宿泊

「香港にも新型インフルエンザ発生」のニュースに、見覚えのあるホテルのロビーが。なんと「メトロパークワンチャイ」じゃないですか！ 立地も良く、改装したてで綺麗な上に安い、次回もここにしたいと思うほど気に入っていたのに。万一この時期に重なっていたら、大好きな香港の地にいなから街歩きすら楽しむこともできず、美味な海鮮や火鍋も口にできないなんて～気がおかしくなってしまうところでした。



そして、行ってきた会員の話。(5/10～、永田 [009])

豚インフルエンザ騒ぎで中止もありかなと思っていましたが、このインフルエンザに感染するのは若いひとばかり、ニュースでも高齢者に感染者なしで、何も迷わず行くことになりました(笑)

成田空港ではマスク姿は40パーセント、香港空港では空港職員と日本のみの状況です。街でマスクをかけている人は少なく、かけている人は日本人かな...。メトロパーク・ワンチャイホテルが解放されたニュースは新聞の一面に取り上げられていました。

香港にいる間は豚インフルエンザの不安は全然感じませんでしたが、帰国してから喉が赤く腫れてきたときにはさすがに心配しました。

自分が感染して、二次感染をと考えたら、仕事や多くの人に迷惑がかかるなと思って3日間外出しないで家にいました。そのおかげで旅の疲れがとれて助かりましたけれど...。今後、感染者は増えつつありますし、さらに国内に拡大するかと心配です。

會員簡介

半年くらい前から、「タケさん、自己紹介書いてくださいよ」と依頼を続けるも、なかなか筆の進まぬ様子だった小松崎さん。秘書長の依頼が「書け」という脅しの様相を帯びてきた所で、助っ人の妻・美穂さんが一気に書き上げてくれました。つまり今回は「他者紹介」。2回連続で、小松崎夫妻をお届けします。

香港旅情 (夫編/ラブ・ストーリーは突然に) 文・小松崎美穂 [013]

小松崎武弘
こまつさき
たけひろ
[026]

男がいる。彼の名は「タケさん」。不惑をとくに越えた彼は、迷うことはないが、流れに身を任せて日々を送っている。

そんな彼が初めて香港を訪れたのは、1985年。翌年にサッカー・ワールドカップ・メキシコ大会を控え、アジア各地で予選が行われていたが、その一試合である日本対香港戦を見に行ったのだった。

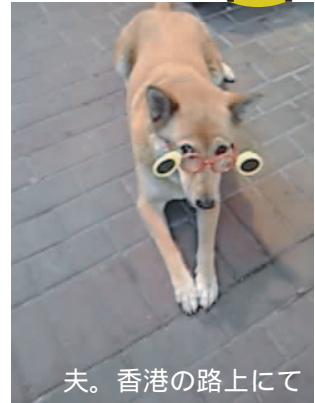
場所はハッピーバレーにある政府大球場 (現香港スタジアム)。折りしも対日感情は激化しており、同行者 10名程の日本人には、ツアー責任者より「日本が勝っても騒ぐな」と厳命が下っていたという。日本が得点した時は密かに喜び合い、香港がゴールを決めれば周りと一緒に立ち上がって大声で歓喜する振りをした。結果は対 1 で日本の勝利。応援中の態度が功を奏して、彼等一行は無事にスタジアムを退出できたのだった。

この時の旅行ではまた、彼自身も沙田にあるサッカー場で、地元のサッカーチームと練習試合を行うという貴重な経験もできた。

時は流れて 2009年、気がつけば彼は、香港好きの妻に伴われて毎年香港を訪れている。最近の彼のお気に入り、旺角界隈のぶらり散歩と、茶餐店の茹り過ぎたスープ通粉 (マカロニ) のモーニングセットである。

「あの日、あの時、あの場所で香港 (牛ミ) と出会えなかったら、僕らは今でも、見知らぬ関係 (たにん) のまま...」

to be continued...



夫。香港の路上にて

表面より、つづき。



HONG KONG PUBLIC TRANSPORT ASSOCIATION

香港巴士鐵路旅遊協會會員専用ページ

このページは会員専用ですから、パスワードがないと閲覧できません。パスワードを使ってこのページに入った後、「戻る」ボタンなどで別のページに行っても、再度このページへ戻るとお知らせするパスワードは他人には教えないで下さい。なお、パスワードは随時変更します。

会員の香港行き予定

2009.05.08-11 [015] 和地由紀子
2009.05.10-14 [009] 水田幸子
2009.05.21-24 [001] 小柳 さんへ無理かも(001)

協会の「会員専用ページ」に会員の渡航予定が載っているのを知ってますか？ 旅程を会長に伝えたとアップしてくれます。先日ここに控えめな掲示...しかし一向に行った気配のない会長。気になってメールしたら、返信がきました。

「微妙な表現のとおり、無理でした。憎っくきインフルエンザ、そしてそれ以上ひどい過剰反応社会(´´´) これで年齢数に香港回数が追い付くのが遠のきました」 [001]

お気の毒です。やっぱり今年は、なんとかしてみんなで香港集合をやろうじゃないですか。ということで、前回会報でもお伝えしましたが、今年のトラムパーティは12月5日(土)が実施日(候補)です。なるべく早く確定にしたいところです。この件についてお問合せ等ありましたら、理事までどうぞ。

今年も トラムを 貸し切ろう(か)!

(確定までしばしお待ちを)



[写真: 001]

反省 日本香港協会会報「飛龍」を同封いたします。今回は小柳会長と森山さん [023] の寄稿
含みの がありますので、どうぞご覧ください。 流感だ!と欲張って盛りだくさんに原稿をいた
後記 だき、あげくうまく納まらずに...表から 面まで続く記事ができてしまいました。いつも読
みにくくてすみません [会報担当・002]